

## 令和5年(2023年)度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：茨城県阿見町

協定締結日：平成31年(2019年)3月18日

活動状況：継続中

連携先窓口：茨城県阿見町農業振興課須原様

活動資金：自治体予算

担当教員(所属)：秋山聡子(栄養科学科)

活動体制(単位)：個人

関連教員(所属)：

活動目的：そばの実をふるさと納税の返礼品の1つとした際に、レシピ集を同封することを目指しそばの実を使用した新メニューを開発する。さらに、そばの実の魅力を周知させるためのリーフレットを作成する。また、英国レディング大学を協力し、レンコンやヤーコンに含まれるポリフェノールを分析し、機能性について検討することを目的とした。

活動内容・成果：

そばの実を用いた料理レシピについては、11種の新メニューを考案し、阿見町での試食会を開催するに至った。

レンコンやヤーコンは、切裁した後の試料のあく抜き作業とされる水浸漬操作の前後でポリフェノール総量を定量した。レンコンは、3cm辺の乱切り後、試料を試料の5倍量の水に15分間すると、浸漬前に比べポリフェノール量は減少した。ヤーコンは、長さ3cm、幅5mmのせん切り後、試料を試料の10倍量の水に1分間浸漬しても浸漬前とポリフェノール量は変わらなかった。今後は、加熱調理後のポリフェノール量や組成を分析し、レンコンやヤーコンを食する際の機能性を明らかにする必要がある。

課題・改善点：

令和5年度は、受託研究の締結が年度後期になってしまい、実験の遂行が遅れてしまった。できるだけ早い時期に締結することが望ましい。また、情報が必要な時の急な連絡は避け、日ごろから連絡を密にとる必要があると考えられる。